

教育長報告
(教育委員会事務局の主な動き)

平成30年3月27日
教育委員会会議提出

2月14日	「庁議(30 年石狩市議会第1回定例会提出案件)」	庁議室
	「(仮称)厚田小中学校設立準備委員会第7回会議」	厚田保健センター
19日	「29 年度 2 月学校ヒアリング(1日目)」	教育長室
20日	「29 年度 2 月学校ヒアリング(2日目)」	教育長室
	「2月定例校長会議」	402会議室
	「29 年度教育奨励賞授与学校訪問」	樽川中
21日	「授業改善等支援事業に係る学校訪問指導・講演」	樽川中
22日	「29 年度 2 月学校ヒアリング(3日目)」	教育長室
	「日程調整会議」	庁議室
	「29 年度第4回社会教育委員の会議」	市公民館
	「(仮称)石狩・八幡小学校基本計画(案)保護者・地域説明会」	親船会館
23日	「H30 年第1回定例市議会定例会開会(～3/23)」	議場
	「29 年度 2 月学校ヒアリング(4日目)」	教育長室
26日	「29 年度 2 月学校ヒアリング(5日目)」	教育長室
27日	「2月定例教頭会議」	402 会議室
3月1日	「H30 年第 1 回定例市議会定例会代表質問」	議場
2日	「H30 年第 1 回定例市議会定例会一般質問」	議場
	「(株)北海道日本ハムファイターズ 2018 年度北海道 179 市町村応援大使決起集会」	札幌パークホテル
	「暴風雪による市内小中学校臨時休業」	市内小中学校
3日	第9回中古本リサイクル市 ブック・マーチ	花川北コミセン
	「NPO 法人ひとまちつなぎ石狩からの寄贈本贈呈式」	市民活動情報センターほしめと
	「第 30 回公民館まつり(～4 日)」	市公民館
5日	「第 21 回図書館を使った調べる学習コンクール奨励賞表彰伝達式」	双葉小
	「道教委石狩教育局北村指導監来庁」	教育長室
6日	「星置養護学校ほしみ高等学園卒業式」	ほしみ高等学園
7日	「建設文教常任委員会」	第一委員会室
	「29 年度第 2 回文化財保護審議会」	市民図書館

8日	「平成 29 年度石狩管内教育実践奨励表彰式」	双葉小
	「管内市町村教育委員会臨時教育長会議」	道庁本庁舎
	「3月定例教育委員会管理職会議」	庁議室
	「教育委員会会議3月臨時会」	教育長室
	「3月臨時校長会議」	402 会議室
9日	「道教委石狩教育局柴田教育支援課長来庁」	教育長室
	「(仮称)石狩・八幡小学校設立準備委員会第5回会議」	八幡コミセン
11日	「北海道のチカラ 今、私たちにできることー3. 11とともに歩む」	札幌駅前通地下歩行空間
	「忘れない！3. 11」	市民図書館
12日	「29年度第5回教育支援委員会」	401・402会議室
13日	「市内中学校卒業式」	樽川中ほか6校
14日	「市民カレッジ修了証授与式・懇談会」	市役所ロビー
15日	「市内小中学校卒業式」	聚富小中
	「教育委員会会議3月臨時会」	203会議室
	「教育委員勉強会」	203会議室
17日	「市内小学校卒業式」	双葉小ほか8校
18日	「市内小学校卒業式」	浜益小
19日	「30年度当初予算特別委員会」	第一委員会室
	「市内小学校卒業式」	生振小・望来小
20日	「藤女子大学2017年度学位授与式」	藤学園講堂
	「市内教育関係機関合同送別会」	ノースヒル
22日	「聚富中学校修学旅行時の地場産品店頭 PR 体験に関する 予行演習(2月16日も)」	とれのさと
23日	「第1回定例市議会閉会」	議場
	「3月定例校長・教頭会議」	401・402会議室
25日	「管内教育行政懇談会」	ネストホテル
26日	「キャンベルリバー少年少女親善訪問団結団式」	花川南コミセン
27日	「29年度学校支援地域本部事業報告」	教育長室
	「定例教育委員会会議」	第二委員会室

質問者@党派 ■質問事項	質 問 の 趣 旨	答 弁 要 旨
【代表質問】 上村 賢@平和な大地を守る会 ■教育行政執行方針について	・早寝早起き朝ごはん運動の成果は？今後は朝食に血糖値の上昇が緩やかで脳が働きやすくなるご飯食を推進するなど、取組の質をさらに高めてはどうか？ ・H29に行ったアンケートで図書館の課題はどこにあると考えるのか？特に冬季間、図書館に来ることができない交通弱者対策をどうするのか？今後も市民ニーズを把握し、社会背景を踏まえた対応を望むが考えは？	・ここ数年、児童生徒の9割以上がほとんど毎日朝食を食べており、一定の成果を得ている。規則正しい生活リズムや栄養バランスの取れた食事は大切で食育でも学んでいるが、朝食での主食の選択は各家庭で判断すべきこと。今後は朝食摂食率の一層の向上に努めつつ、栄養バランスの取れた食事の大切さなどを児童生徒や保護者に一層伝える。 ・現在結果を分析中だが、図書館を利用しない理由の2番目が「本を読まなくなった」ことは大人の読書離れとの関連で懸念される。また、高齢化が図書館利用の困難さの背景にあることも確認。分館への取り寄せや宅配などのサービス周知とあわせ、実態把握と情報発信を進める。今後も高齢化や情報集手段の変化などの変化を把握し、市民が求める図書館づくりに努める。
【代表質問】 加納洋明@公明党 ■学校の働き方改革について	・学校の働き方改革に関する石狩市の現状と今後の取り組みは？ ・部活動外部指導員を含む部活動のあり方についての考え方は？ ・取組みの効果を測るためにも教職員の勤務時間を把握する必要があるのでは？ ・教職員負担軽減の立場から新指導要領への移行期間の取り組みをどう考える？	・本市では給食費の公会計化、校務支援システム、各種人的支援。管内では定時退庁日や部活動休養日などを設定。新年度は学校閉庁日、Q-Uコンピュータ分析、SSWと部活動外部指導者増員など。今後は国・道の方策と管内の動向を踏まえ危機感を持ち取り組む。 ・「指導員」は人材確保をはじめ未整理の課題があるため、まずは「指導者」から考えたものだが、「指導員」導入に向けた検討の必要性は認識している。 ・市内教職員の勤務時間の状況は道教委調査と同様と推測。勤務時間の調査は今後の課題と考える。 ・今後もできる限り教職員を支援する。教員の勤務時間削減と授業時数確保の両方が求められているが、すべきことをして子どもたちの学習環境整備に努める。
■小学校における新学習指導要領の取組について	・教員の負担軽減が叫ばれる中で、英語授業やプログラミング教育の現状と今後の取組みをどう考えるか？ ・文科省が導入方針を示したデジタル教科書（学習者用）の導入についての考え方は？	・新要領移行は教員の負担軽減に配慮しながら取り組んでいる。外国語教育は英語巡回指導教員、ALT派遣方法見直しなど。プログラミング教育は出前授業継続と教科における指導方法も人的物的支援を行う。さらに土曜授業で時数を確保。今後も丁寧かつ計画的に準備を進める。 ・有効性は認識するが、費用負担など今後整理が必要な課題もあるので、まずはタブレットや無線LAN等の環境整備を進めながら情報収集と研究を進める。
■避難所としての学校施設の機能強化について	・国の29年度補正予算を活用して学校の避難所としての機能の強化、特にトイレの洋式化を進める考えはないか？	・トイレは大規模改修時にリニューアルするのが理想だが、なかなか着手できないので、洋式化を優先して毎年単独費で進めている。しかしこれではスピードに限界があるので、大規模改修と切り離した財源確保策などを検討し、洋式化を進めるよう努める。なお、29年度補正は30年度要望事業の前倒し採択を目的にしたものと理解している。
【代表質問】 堀 弘子@市民ネット ワーク北海道 ■教育について	・厚田統合校は小中一貫の義務教育学校にコミュニティスクールを導入するが、どのような特色ある取組を期待しているのか？	・コミスクは学校と地域をつなぎ、義務教育学校は小中の教員同士、子ども同士をつなぐ。これらを通して児童生徒に多様な者との関わりを持たせたい。今後、準備委員会の中で厚田モデルの教育活動を検討するので、市教委も知恵を絞り、地域と歩む学校の実現に向けて努める。

質問者@党派 ■質問事項	質 問 の 趣 旨	答 弁 要 旨
(続き) 堀 弘子@市民ネット ワーク北海道 ■教育について	・中学校への図書司書は巡回でなく配置にしなければ効果が上がらないのでは？ ・教師が子どもと向き合う時間を確保するためどうやって激務を緩和するのか？	・小学校の次の段階として中学校図書館の整備に取り組むが、現状では蔵書の分類排列等の整備から手がける必要があるため巡回としたもの。司書の配置は有効だが、現実には一気呵成に進めることは難しい。巡回と並行して効果的な方策を検討。 ・国の緊急対策や道教委のアクションプランなどを踏まえながら検討し、鋭意取り組む。
【一般質問】 片平一義@平和な大地を守る会 ■厚田区・浜益区の文化財調査活用事業について ■子母澤寛没後50年について	・厚田区、浜益区にも多くの地域資源があると思うが、新年度予定している文化財調査の事業内容は？ ・市長はそれらを地域資源として活かすには市を挙げた取り組みが必要。市長はこれらをどう評価し、どう活用する考えか？ ・今年は子母澤寛没後50年。北海道文学館では北海道150年事業の一環として特別展を実施。母校の明治大学でも展示と講演を実施。本市は記念事業をしないのか？	・戸田墓地公園の桜をドローンで撮影し道の駅等で活用する。厚田・浜益の寺社の奉納物の調査や浜益とユウカラの関わりを探る調査を実施し、両区の文化財の価値や歴史的背景等を明らかにする。(教委) ・オンリーワンが好まれる現在、両区の文化財は再評価されるべき時期。絵馬1枚にしても歴史的な背景が分かれば付加価値が出て評価されるので、時間がかかっても深く掘り下げたい。活用を意識し、市と市教委が連携して取り組みたい。(市長) ・子母澤寛は旧厚田村栄誉村民で、市民図書館でも関連資料を収集して展示等行ってきた。今年は記念事業として原稿等の展示と記念講演会を行う。
【一般質問】 阿部裕美子@公明党 ■学校での心肺蘇生教育の普及推進について	・児童生徒への心肺蘇生教育の実施状況と今後の方針は？教職員に対する心肺蘇生研修及び関係機関との連携の状況は？ ・児童生徒全員が実技講習を受講するよう計画を立てる考えはないか？	・中学の保健体育でAEDの必要性を学んでいるほか、7小中では実技講習も実施。教職員はサマーセミナーで消防の協力で実技講習を継続。救急救命の学習は重要だが、学校でAEDの実技講習をするには機材や講師の確保が課題。「防災まちづくり協会」に期待する。今後は協会と連携し、心肺蘇生法等の普及に取り組む。 ・学校の状況を踏まえた検討が必要。協会の対応能力も見極めながら指導時数等を協議していく。
【一般質問】 長原 徳治@日本共産党 ■生活保護について ■教育行政について	・今般の生活保護基準の見直しにかかわらず、就学援助には影響が及ばないよう対応すべきと考えるがいかがか？ ・学校での働き方改革について、教員の増員が必要であり、国に求め続けるべき。すぐに実現しないのであれば当面できることに取り組むべきと思うが、何を行うのか？ ・義務教育学校の小中一貫教育には課題も指摘されているとの新聞報道もあるが、この点についての認識と、義務教育学校を選択した理由は？義務教育学校導入について、地域と十分な議論が行われたのか？	・今回の保護基準見直しに当たって「他制度にできるだけ影響が及ばないよう対応する方針」というのが国の方針と承知。国からの具体的な通知はまだだが、国の方針を基本として、就学援助認定基準額に影響を与えないよう対応することになると考える。 ・校務支援システムや人的支援などで教職員の負担軽減に取り組んでいるが大幅な時間外勤務縮減には至っていない。新年度は部活動外部指導者とSSWの増員を予定。教員が限られた時間で子どもに十分接するには、業務改善や業務範囲見直しのほか、定数改善などが重要。市教委としては、働き方改革に取り組むと同時に、教職員定数の改善や少人数学級の早期実現を引き続き国に要望する。 ・義務教育学校は、①小中一体の教職員集団による乗り入れ指導で複式指導を一部解消②9年間の学びの連続性を確保した教育課程の編成による系統的な指導③小中ギャップ緩和に向けた工夫が可能④小中の子どもや教員との係わり合いの仲で多様な考えに触れる機会を確保、など厚田モデルの教育活動が進められる。デメリットを上回るプラスが期待されるから制度化されたと認識。先進校の改善事例も参考に、設立準備委員会や保護者と丁寧に対話し、疑問や不安を払拭していくが、教職員の多忙感が増さないよう配慮して進める。

質問者@党派 ■質問事項	質 問 の 趣 旨	答 弁 要 旨
(続き) 長原 徳治@日本共産党 ■教育行政について	・通学路交通安全対策協議会の内容は？ ・紅南公園横の花川通へのガードレールや看板等の安全対策等を行うべき。	・通学路交通安全対策協議会は、市教委、警察、校長会、教頭会、道路管理者、市交通安全部局等で構成し、合同点検をしてソフト・ハード両面の対策を講じ、PDCAサイクルにより通学路の安全性を向上させるもの。 ・紅南公園横の花川通については、児童への交通安全教育の徹底を基本として、PDCAサイクルの中で学校要望も聴きながら有効な対策を検討する。
【一般質問】 村上 求@自由民主クラブ ■統廃合後の廃校の利活用について ■デジタル教科書について	・廃校は維持管理経費節減のため売却も含めた検討が必要と思うがどうか？ ・学校の働き方改革の観点から、教師用デジタル教科書の導入を本市も検討してはいかがか？	・売却も含め、有効な利活用の検討が必要。避難所になっているなどの事情も考えつつ、地域と施設の状況に応じてさまざまな選択肢があるので、他の成功例や地域意見を踏まえて検討する。(財政部長) ・教師用デジタル教科書は授業改善と教員負担軽減に効果が期待できる。現在、紅南小と浜益小で先行導入し、中学2校で独自活用中。市教委はデジタル教材導入の前提となるタブレット導入や校内無線LAN等の基盤整備を優先実施中。今後は周辺環境の整備状況と個別の学校事情を踏まえて検討したい。

